

明けましておめでとうございます

米田仲よし広場は、平成22年4月に開設以来、誰もが安心して暮らせる地域づくりの活動を米田地域の皆さんと力を合わせて進めてきました。

昨年は、開設以来9回実施してきた「なかよしフェスティバル」が子育て支援センターが移転したことにより開催が危ぶまれましたが、皆さんの熱い思いで米田地域交流センターと米田小学校体育館をお借りして、作品展・防災運動会・輪投げ大会を各団体のご協力を頂きながら、「第10回米田なかよしフェスティバル」を開催することが出来ました。

今後、ますます少子高齢化が進むなど、地域の課題も山積する中、今年も施設の維持や運営の在り方を検討しながら、さらなる活動を進めて参りますので皆さんのご協力をお願いします。

本年が、皆さんにとって素晴らしい1年になります様祈念して、新年の挨拶と致します。

(米田仲よし広場 一同)



米田仲よし広場ホームページ

第10回米田なかよしフェスティバル開催

2024. 11. 9～11. 10 米田地域交流センターにて作品展を開催いたしました。

今年は、天気に恵まれ開催期間中500人以上の来場者がありました。米田・米田西小学校、米田こども園、米田西保育園の子ども達の作品と町内の4つのグループ、6名の出展があり、初めての会場ではありましたが盛況に終わることができました。絵画、書道、陶芸、押し花、パッチワーク、ヒンメリ、多肉植物など皆さんの力作の前で子どもから大人まで「すごいね」など思い思いの感想話があちらこちらから聞こえてきました。

また、「久しぶり、元気だった」など話がはずみ、会場が出会いの場にもなっていました。

来場者の皆さんの様子を見ていますと来年も開催したいとの思いが募りました。

最後にこの場をおかりして出展者の皆さん、米田地域交流センタースタッフの皆さん、そして会場運営に携わっていただいた自治会の皆さんのご協力に心から厚くお礼申し上げます。



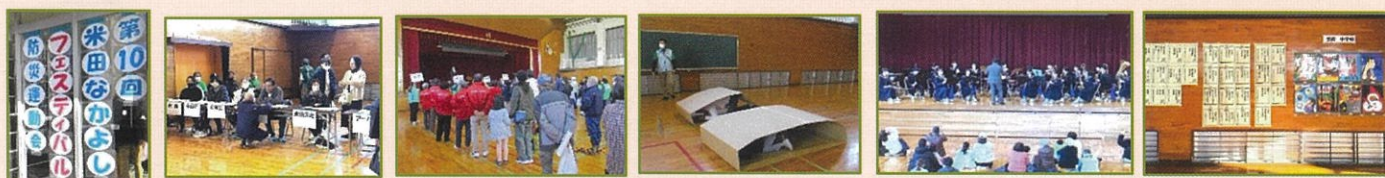
12.1 防災運動会を米田小学校体育館で開催

防災士として米田小学校での防災運動会に参加させていただきました。5年ぶりの開催にもかかわらず多くの方にご参加いただき、皆様の防災や地域連携の意識の高さを感じました。

「地域のつながりの強さが防災力」となります。

今日起きるかもしれない「南海トラフ巨大地震」への備えとして、自分の命、そして大切な人を守ることを強く意識し、今できることをすぐに行いましょう！

家を安全にすれば避難所で長期避難する必要はなく、家で過ごせます。電気・水道・ガスが止まってもカセットコンロと水が十分にあれば冷蔵庫の食料や乾物などを耐熱のポリ袋調理で普段通りの食生活で過ごせます。ローリングストックで1週間の食料の確保も可能です。そして忘れてはならないのが「非常用携帯トイレ」を備えておくことです。大人は一日に7回程度トイレに行きますので家族で1週間分用意しておきたいですね。



今回は、宝殿中学校の吹奏楽部の演奏で防災運動会が始まり、生徒の皆さんが考えた防災の標語や火災防止のポスターを会場に展示させていただきました。標語は、とても楽しく、ユーモラスな表現で防災についての心得などが表現されたものが多かったようです。また、ポスターも色鮮やかな色彩、デザインでとても目を引く素晴らしいものでした。日頃から防災について関心を持ち、取り組んでいくことの大切さを感じさせてくれる作品ばかりでした。

また、消防団の方達には、水消火器体験を。婦人会の皆さんには、アルファ化米のご飯を作っていただき、エプロン会の方には豚汁の炊き出しをしていただきました。

12.1に世代間交流「輪投げ大会」も開催

今回の輪投げ大会は、避難所開設体験という中で、被災時の不安やストレスを少しでも和らげるための「輪投げ大会」でした。米田町老人クラブの皆さんに運営をお願いし、当日は小学校の児童ボランティアの子どもたちにもお手伝いいただきました。世代間交流もでき、米田町内、日頃お会いしない方との交流もできました。初めて、「輪投げ」をされた方も輪が入るたびに「やったあ〜」、「よっし！」と何度も歓声を上げておられました。

会場内に「輪投げ」で米田町の「和」ができました。

お世話くださった老人クラブの皆さん、児童ボランティアの皆さん、ご支援、ありがとうございました。



編集後記

今号は、地域で活躍されている皆様と一緒に開催した「第10回米田なかよしフェスティバル」を特集しました。また、今年の干支は「巳年」、ヘビと言えば「脱皮」を繰り返すなど「復活・再生」の象徴とされ、新しいことが始まる年でもあります。本年も、新たな気持ちで地域活動情報を提供して行きたいと思いますので、ご愛読の程よろしく願いいたします。